

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

サントリー食品インターナショナル株式会社（証券コード:2587）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- サントリーグループ（グループ）の中核事業会社で飲料・食品事業を担う。国内飲料業界では第2位で、同市場トップブランドの「サントリー天然水」を筆頭に、消費者認知度の高い有力商品を多数抱える。海外でもアジア、オセアニア、欧州、米州など幅広い地域で事業を展開。これらに加え、グループをあげての長年の環境保全活動などを通じ、高いブランド力が形成されている。上場会社でグループからは一定の独立性があるため当社自身の信用力を重視しているが、事業面や成長戦略における一体性を踏まえ、当社の格付ではグループ全体の信用力も考慮している。
- 業績は成長軌道に乗っており、引き続き、堅調な推移が予想される。メーカー間の競合やサプライチェーンコストの上昇などで事業環境そのものは厳しい。ただ、国内では多彩な商品展開やブランド力強化の取り組みなどで、長期にわたって販売を拡大させている。海外でもコアブランドへの集中活動やグローバルブランドの育成などで、各地域で高いプレゼンスを維持している。また、自販機事業の構造改革やサプライチェーン体制の整備・強化、ノンコア事業の見直しなども通じ、収益力が強化されている。利益蓄積で財務耐久力も向上しており、当面、財務の健全性が損なわれる懸念は小さい。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 23/12期は売上収益、営業利益とも2期連続で過去最高となり、為替中立・既存事業（事業売却等の非経常的要因を除く）ベースでも増益となった。価格改定を進める中でも国内や海外主要国で販売が堅調に推移したほか、コストマネジメントの徹底などが寄与した。24/12期会社計画では、売上収益1兆6,700億円（前期比4.9%増）、営業利益1,490億円（同5.1%増）を予想する。今期も原材料費や物流費などのコストアップがマイナス要因となるが、ブランドポートフォリオのさらなる拡大やコスト削減、価格改定などでカバーする計画。欧州では景況感の悪化による販売への悪影響が生じているが、全体として足元の業績は順調に進捗している。
- 財務構成は良好である。23/12期末で1,718億円の手元流動性を有する一方、有利子負債は同水準を下回っており、ネットキャッシュポジションとなっている。また、継続的な利益蓄積などで、同期末で親会社の所有者に帰属する持分は1兆円台に乗った。新中期経営計画（24/12期～26/12期）では、生産ラインの新・増設をはじめとする戦略的な設備投資やM&Aなどで最大6,000億円の成長投資を計画する。また、配当性向についても40%以上に引き上げる予定となっている。ただ、現在の財務状況や安定したキャッシュフロー創出力から見て、特段、懸念する規模ではない。

（担当）窪田 幹也・藤田 剛志

■格付対象

発行体：サントリー食品インターナショナル株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2021年7月8日	2024年7月8日	0.001%	AA

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,500億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年6月28日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「食品」（2021年6月1日）、「企業グループの傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） サントリー食品インターナショナル株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル